



「自分」との関わりで学ぶ ～生活科と総合的な学習の時間の研究授業～

先週 20 日（木）に、2-3 と 1-1 が生活科、3-2 が総合的な学習の時間の研究授業を行いました。生活科と総合的な学習の時間は、子供が「自分」と人・こと・ものとの関わりを意識して学ぶことが大切ですが、2-3 は学校の池で自分が捕まえたエビ、1-1 は登下校で自分を見守ってくれている防犯パトロール隊の方、3-2 は自分で作成する岡崎の観光案内に対してそれぞれ思いをもち、学びを進めました。その学びの過程を通して、子供たちは自ら「？」を「！」にすることができました。



▲2-3 「エビが大きく元気になるにはどうする？」



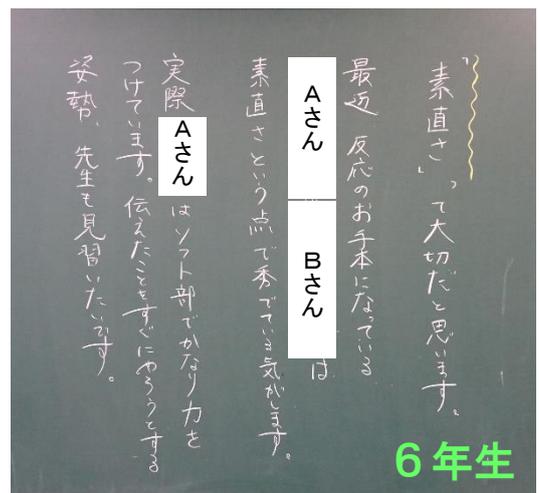
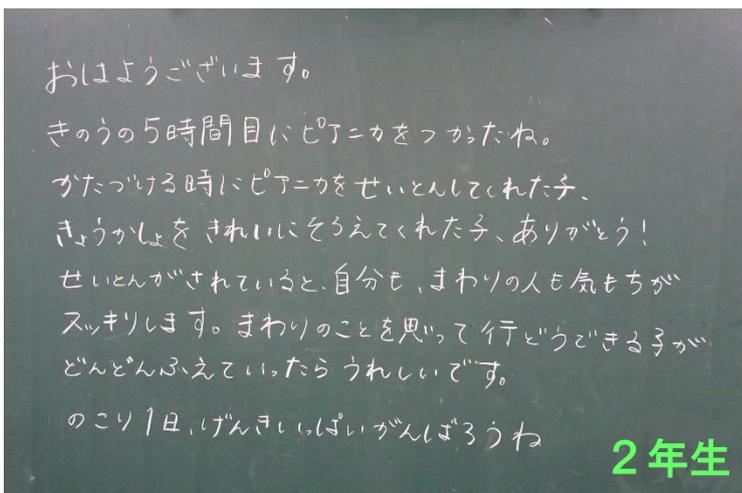
▲1-1 「ほうはんぼとろおるたいのひとは、とうげこうのとき、なにをみているのかな？」



▲3-2 「パワーポイントを今よりもっと進化させるには？」



素敵な黒板メッセージ ～子供の頑張りや成長を褒める・認める～



先週 20 日（木）の夕方、戸締りを確認しながら校内を巡っていた際、2年生と6年生の教室で、素敵な黒板メッセージに出会いました。それぞれの担任は、子供の頑張りや成長に喜びを感じ、それを褒めたい、認めたいという一心で黒板に思いを記したのでしょう。このように、今の男川小には、先生と子供たちの温かな心のふれあいがたくさんあります。このことを本当に嬉しく思います。